

部屋の 合宿

Interview

はじめは奉納相撲から

笹川出羽海後援会 会長

小早稲 喜久男さん



昭和60年の奉納相撲に、出羽海部屋の鷲羽山関（先代の出羽海親方）に来ていただいたことから、鷲羽山関の断髪式に行ったり、笹川小で指導してもらったりと、出羽海部屋との交流が始まりました。その後、平成13年に夏合宿の相談を受け、実行委員会を結成。先のことは考えず、とりあえずやってみようというので、今年で19回目を迎えます。

毎年、1月場所後に新年会と総会が行われ、その場で親方に予定を確認し、そこで開催が決まります。契約や取り決めを交わしているわけではなく、いつまでやるとも決めていません。「笹川は笹川流で良い」と、先代の親方に言っていたら、私たちは背伸びすることなく、できることをやっています。それが、ここまで続いている理由の一つだと思います。

はじめは、土俵作りに苦勞しました。土運びや水加減などを調整し、良い状態に仕上げるまで数年かかりました。屋根もなく、仮設でビニールシートやベニヤ板を使い、合宿前に、設置・撤去していま



▲昨年の合宿で後援会の皆さんと

した。その後、常設の鉄製支柱にし屋根も補強。溶接など専門的な部分は業者をお願いし、柱を立てたりトタンを張ったりなど、できるところは手作業でやりました。

現在、笹川出羽海後援会は60人。幹事を含む役員は12人です。地元の伝統である相撲を盛り上げたい、合宿を支えたいなど志がある人たちがいます。夏合宿も人気を集め、特にファン感謝デーは多くの人が入りも好評で、対応できないこともあります。いつまで続けられるか分かりませんが、同じ志の人たちと、続けていきたいと思っています。

相撲界の名門 出羽海部屋

出羽海部屋は、現存する部屋では最多9人の横綱を育てました。また、3人が日本相撲協会の理事長を務めるなど相撲界随一の名門です。

歴史は古く、寛政末年（1800年ころ）、出羽ノ海金蔵が出羽ノ海部屋を設立。2014年に先代師匠の元関脇・鷲羽山関が定年退職により、小城ノ花関と年寄名跡を交換し師匠を交代、現在に至ります。出羽海部屋には、小結の御嶽海関をはじめ、幕下1人、3段目7人、序二段4人、序ノ口2人の計15人の力士が在籍しています。また、3人の親方が力士の指導を担当。行事、呼出、床山、世話人、スカウトも在籍しています。

現在の出羽海親方は11代目で、6代目出羽海親方より5代目の偉大さをたたえて「ノ」を外して出羽海となっています。

高崎親方に聞く



◎元金開山関。平成4年の奉納相撲で、初めて来町。そのときの縁で、金開山の後援会が結成されるなど、町との関係は深い。

——東庄町の印象はいかがですか。

諏訪神社の雰囲気がとても良いです。のびのびと相撲ができる環境ですね。

——合宿に向けての意気込みをお願いします。

力士は、8月の合宿で力を付けて、9月場所へ挑みます。応援が力になりますので、ぜひ迫力ある稽古を見に来てほしいです。

出羽海夏



相撲のちょっとしたギモン

土俵で塩をまくのはなぜ？

東西に置かれた竹ざるの中にある塩。清めの塩といわれ、土俵の邪気を払い、力士がけがをしないようにする祈りの儀式です。



ちゃんこを食べるのはなぜ？

力士の食事を「ちゃんこ」と言い、ちゃんこ鍋だけが「ちゃんこ」ではありません。ですが、鍋は調理の手間も簡単でいろんな食材をとることができ、栄養バランスも良いことから、食事に出ることが多いそうです。



夏合宿期間中の力士の1日

- ▶ 5:30 起床
- ▶ 6:30 集合

若い衆（新弟子など若い力士）は、早めに集合し、相撲がとれるよう準備します。四股やすり足で体を温めます。

おおよその時間ですが、部屋でもだいたい同じスケジュールだそうです。

- ▶ 7:30 稽古

勝ち抜き方式で次々と相撲をとる「申し合い」、攻め手と受け手に分かれて土俵際の詰めを磨く「ぶつかり稽古」、同じ相手と何番もとる「三番稽古」を行います。



- ▶ 10:00 稽古終了

土俵は神聖な場所。稽古が終わったら、土俵を掃き清め、盛り砂の上に御幣を立て、感謝と祈りを込めて土俵をまつります。

- ▶ 11:00 お風呂、食事

順番にお風呂（シャワー）に入り、ちゃんこを食べます。

- ▶ 14:00 昼寝・休憩

睡眠は食事と同じくらい大切です。その後、散歩や自主練（てっぼうなど）をする力士もいます。ちゃんこ番（食事当番）は食事の準備を始めます。午後は、町内の福祉施設へ慰問に行くこともあります。

- ▶ 18:00 夕食

朝は食わず、昼と夜の2回の食事です。

- ▶ 20:00 自由時間

思い思いに過ごします。東庄パーク&ビアに来ていることも。



- ▶ 23:00 就寝

Interview

東庄のお肉は力士に好評

笹川出羽海後援会
稲吉 清さん



出羽海部屋では、ちゃんこ番（食事当番）が毎日交代制で、3人くらい班となり料理します。昼はだいたい10時までに、夜は18時までに作りまします。食事は、親方が始まり、番付が高い力士から順番に食べます。合宿期間中も同じです。

力士の料理の腕もさまざまで、私は、買い出しやメニューと一緒に決めアドバイスしたり、料理をしたりと手伝いをしています。力士の食事には、基本的に鍋が必ずあります。味噌、醤油、水炊きなど種類



▲食事の様子

も豊富です。そのほか、おかずが最低2品、そしてご飯です。ご飯は1回に2〜3升炊きます。

東庄のお肉はおいしいと力

士に大変好評です。差し入れも工夫して調理します。魚をいただくこともあるので、さばいてお刺身や煮付けに。部屋では普段あまり作らない煮物も喜ばれます。カレーも人気ですね。たくさん汗をかくので、味付けは全体的に少し濃いめです。

区の世話人として、奉納相撲を担当してから35年。合宿も19年。合宿期間中は、力士のけがや病気を気にかけています。体が資本のため、稽古に万全に臨めるよう食事を含めてサポートできたらと思います。